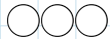




土浦のランドマーク



右側に「通」とある建物のところには、その後、丸井デパートが建てられました。通りの左手には、土浦のランドマークが平成9年に完成しました。その建物の名前は？

昭和30年ごろの土浦駅前通り

土浦今昔ものがたり

平成22年11月3日で、土浦市は市制施行70周年を迎えます。そこで、私たちの住む「まち」がどのように変わったのかを、昔と今の写真を見比べながら振り返ってみましょう。クイズもご用意しましたので、ぜひご家族で挑戦してみてください。



大徳商店

大国屋徳兵衛により江戸時代に開業されました。現在は「まちかど蔵」として、観光と文化の情報発信基地や土浦の特産品などを販売する観光物産館として利用されています。

街並み



藤沢宿通り(大正時代と現在)



霞ヶ浦の観光定期船

昭和初期には、外輪蒸気船に代わってスクリー船が登場し、土浦港と潮来方面を就航しました。



泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル(平成21年7月)の会場上空に飛来したツェッペリンNT号



土浦の新しい名物
ツェッペリン○○○

昭和4年8月に飛来したツェッペリン伯号の乗組員に振る舞った食べ物が、現代風にアレンジされ、土浦の新しい名物になっています。その食べ物は？



川口運動公園完成

完成して間もない、昭和31年ごろの航空写真。公園の完成に先駆けて、25年11月に市営野球場が完成し、記念行事として早慶新人戦が行われました。現在は、高校野球の試合会場のほかにも、かすみがうらマラソンのスタート・ゴール地点などとして多くの人たちに利用されています。



出
来
事



庁舎前の聖火台に点火する様子



第29回国民体育大会

昭和49年、茨城県で国体が開催され、霞ヶ浦でヨット競技、市営野球場で高校野球の軟式部が開催されました。

施設



土浦町役場

市役所本庁舎は 昭和〇〇年完成

土浦町役場は、中央二丁目にある現在の関東つくば銀行本店の場所に建っていました。
市役所本庁舎が下高津一丁目に移転して完成したのはいつ？



軍艦型の旧土浦駅舎

昭和11年10月完成。海軍の町と言われたためか、中央の時計塔の左右に伸びる屋根が、上り方面に向う軍艦の形をしています。昭和58年2月、駅ビルとして生まれ変わりました。



新治庁舎

昭和30年、藤沢・斗利出・山ノ荘の3村が合併し、新治村が誕生しました。昭和44年、現在の場所に新治村役場として完成しました。



亀城公園東櫓

東西の物見櫓は、土浦城主の西尾忠永によって元和6(1626)年から7年にかけて建築されたと言われています。東櫓は明治17年3月に焼失し、市制60周年の記念事業として再建されました。



学校



昭和3年ごろの幼稚園児



大正13年に完成した幼稚園

〇〇幼稚園

明治18年の創立で、茨城県内で最初に開園された幼稚園の名前は？



土浦尋常小学校

明治44年、他にさきがけて進んだ西洋建築として注目を浴びた新築の土浦尋常小学校(土浦小学校)。昭和40年に現校舎が建築されるまで54年間使われました。



学校生活

(上)大正時代の小学校教室風景

土浦小学校手工室で、紙工作の指導を受けているところです。まだ着物姿の児童も多く見られます。

(左上)完全給食が始まる

戦後数年を経て、アメリカ合衆国から送られた脱脂粉乳によるミルク給食が始められました。昭和30年代になると、コッペパンとおかずが追加され、いわゆる完全給食になりました。



現在の小学校の給食

行事

昭和初期の 〇〇の桜まつり

堤防も川も数多くの人たちでにぎわいました。貸しボート屋も数軒あり、ボートを漕ぎながらの花見で人気のあった川の名前は？



消防団出初式

大正時代は、写真のような纏まといや竹梯子たけはしごも用いて消火を行なっていました。現在は、各消防団に消防車両が配備され、より迅速で確実な消火が可能になりました。



昭和40年代の七夕まつり 2



昭和40年代の七夕まつり 1

七夕まつり(キララまつり)

昭和26年から始まった土浦七夕まつり。平成2年に湖上まつりと七夕まつりを合わせてキララまつりと改称され、初めて山車が巡行しました。





真鍋小学校の桜

大正時代、真鍋小学校校庭の桜の下で開かれた祝宴会。現在、桜は樹齢100年以上で県指定の天然記念物になっています。昭和50年代の終わりごろから、6年生が新入生を背負って校庭を回る、お花見集会が開かれています。



第3回大会のときの記念撮影(前列中央が秋元梅峯師)

土浦全国花火競技大会

大正14年、神亀寺の住職であった故秋元梅峯師が、霞ヶ浦海軍航空隊殉職者の慰霊と不況にあえぐ商店街復興のために、私財を充てて霞ヶ浦湖畔で花火大会を行ったのが始まりです。現在は、土浦の秋の風物詩として全国に知られています。



鉄道

つくば〇〇〇〇
ロード

土浦～岩瀬(桜川市)間を運行していた筑波鉄道の線路跡地は、現在サイクリングロードとして多くの人たちに親しまれています。その名前は？



筑波鉄道の汽車

昭和10年ごろ、虫掛付近の田園を走るのどかな風景



筑波鉄道お別れ列車出発式

筑波鉄道は、昭和62年3月31日の運行を最後に廃止されました。当日は筑波駅でお別れ列車の出発式が盛大に行われました。